

日中友好教育文化交流

よりよい明日へ 県内の教職員団訪中

8月18日から8日間、県内の教職員をはじめとする52人が日中友好教育文化交流団に参加した。上海・大連・瀋陽・撫順・北京を訪れ、各都市の総工会・教育工会が開いたシンポジウムや教育交流会、学校訪問などに参加し、教育課題をめぐって交流を深めた。



上海の教育シンポジウム

1979年に初めて上海市を訪ねたから35周年となる今年訪問の主な目的は、OECDをはじめとする国際的な教育改革の方向性をふまえた教育改革運動を兵庫で推進していくために、中国・上海市の教育改革のとりくみを学ぶことと、「東北部・旧満州地域」を訪問し歴史的事実を直視することで、未来にむけた教育実践を考える機会とすることであった。

また、北京を訪れた際には、8月3日に発生した地震で甚大な被害を受けた雲南省昭通市の教育復興支

援金として、中国教育科学文化衛生体育工会に100万円を寄贈した。万明東(ミンミン)主席は、「自然災害があるたびに兵教組からカンパを贈っていた。本当に感動している。できるだけ早く雲南省の被災地に届けたい」と感謝を述べた。

中国教科文衛工会全国委員会



復興支援金への感謝状



兵教組第2回支部三役合同会議

8月28日から2日間、ラッセホールで兵教組第2回支部三役合同会議が開催された。冒頭、泉執行委員長は8月に派遣された日中友好教育文化交流団に連して教育改革運動について述べ、「14対県確定闘争をはじめとする兵教組運動の前進にむけたとりくみがすすめられるよう、本部執行部も各支部・各専門部と手を携えてとりくむことを誓う」とあいさつした。初日には公務労協副事務局長の加藤達夫さん(日教組特別執行委員)より「人事院勧告のポイントと教職員をとりまく状況について」と題した講演があった。

「学力の国際標準」をふまえた教育改革運動の前進をOECDが実施したPIISA2012で、上海市は前回に引き続き「数学的リテラシー」「読解力」「科学的リテラシー」の3分野すべてで、いずれもトップとなった。トップになるのがいいと言っているわけではない。

「多様な社会・グループにおける人間関係形成能力」にある。3つ目は、中教審答申の「生涯にわたって学び続ける力を育成すること」にある。しかし、現実はどうか。先日、公表された全国学力・学習状況調査の結果。

教育ひょうご

第2回支部三役合同会議

秋季から年末にむけたとりくみを討議

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 泉 雄一郎
編集人 池田啓子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2014/9-15 No. 1867



泉雄一郎 執行委員長

あいさつ要旨

「第37回平和教育実践交流集会」・「集団的自衛権に思う」忌部淑恵さん(川西)

「単に学校で知識・技能を習得するだけではなく、知識・技能を活かして社会で生きて働く力」にある。いわゆるPIISA型学力である。全国学力・学習状況調査のB問題に当たるのではない。実生活や実社会で活用できる力をみることをねらっているのがPIISAである。

「ひょうご教育創造プラン」もふまえていると思った。6月に「地方教育行政法」の一部改正案が国会で成立した。それを受けて7月に発出された文科省初等中等教育局長通知には、教育の中立性、会議の透明性、公開性が、そここにふれられている。

「一過性の成果主義・競争主義の強要は、「学力の国際標準」や中教審の考え方」知識・技能を活かして、社会で生きて働く力」の育成に繋がっていくのか。また、「多様な社会・グループにおける人間関係形成能力」に寄与できるのか。さらに、「生涯にわたって学び続ける力を育成すること」にブレキをかけることになるのではない。

「学力の国際標準」をふまえて「生きる力」を育むためには、点数・順位に振り回されることなく、子どもたちの学ぶ意欲や、学びあう人間関係づくりなど、子どもたちが主体となる「豊かな学び」を保障することが重要である。

「私たちは、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保するため、この「局長通知」を活かし、県当局・県教委、市町当局・市町教委に意見反映をおこなっていく必要がある。本部・全支部で力を合わせて、兵庫の教育を守っていく。」

「いつみカード」で組織の拡大を!

兵教組運動を広め、加入を促進するため、「いきる つながる みちひろく」の内容や兵教組のとりくみを紹介した「いつみカード」を作成した。「道徳の教科化」「土曜授業」「小学校における英語の教科化」をはじめ、現場の思いとはかけ離れた教育政策がすすめられようとしている。教職員の団結が必要な今こそ、「いつみカード」をもとに未加入者へ声をかけ、組織の拡大をすすめて。



「いつみカード」をもとに未加入者へ声をかけ、組織の拡大をすすめて。(必要数を各支部にご連絡ください)

「いつみカード」をもとに未加入者へ声をかけ、組織の拡大をすすめて。(必要数を各支部にご連絡ください)

ラッセホールビアフェスタ BeerFesta

Lasse Hall

90分飲み放題 & 食べ放題 バイキング形式

ご予約時に「教育ひょうごを見た」と伝えていただければ… **120分**に延長! さらに **前売り価格**でご利用できます。

ビアフェスタ開催期間 **9/30(火)まで**

女性グループ限定特典 **女性5名様で1名様サービス!!**

ご予約・お問い合わせ **レストラン リビエラ ☎078-291-1311(直通)**

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8
4-10-8, nakayamate-dori, chuo-ku, Kobe 650-0004
TEL.078-291-1117(代表) FAX.078-291-0333
http://www.lassehall.com E-mail info@lassehall.com

※写真はイメージです。

※最終受付は20:00となります。※ご予約状況によりお料理は血盛で提供させて頂く場合がございます。※30分延長の場合、お一人様500円の追加料金を頂戴いたします。※満席でお席が準備できない場合がありますので、事前予約をおすすめします。※前売りチケットはレストラン又はフロントでご購入ください。※未成年者の飲酒は固くお断りします。※オプションでビールに合うお料理を多数ご用意しております。

第37回 平和教育実践交流集会 in 養父

8月5日、養父市立広谷小学校で兵教組平和教育実践交流集会が開かれ、県内から約70人が参加した。午前には平和集会と平和学習の参観、午後は実践報告と研究協議、意見交流がおこなわれた。養父支部の安本支部長が集会を振り返る。

感じる、考える、伝える 平和教育



安本靖史支部長

養父市内全小学校の修学旅行の行き先は、ヒロシマである。小学校六年生という多感な時期に行き、空気を感ずる。そのことは価値のあることだと思ふ。しかし、子どもたちにとって受け身の学びになつていなかっただろうか。

研究所発行の『つながりのなかで』の中にもあった「あんな悲惨なことは二度と起こって欲しくありません」「戦争はダメだと思ひました」という感想で「よし」としているところがあつたのではないかと自分の実践を振り返り、また、各校のとりくみを伺つても感じることがあつた。



その後、「青い空は」の全校合唱があつた。子どもたちだけでなく、教職員も歌ったり、リコーダーなどを演奏したりと、子どもたちの中に入つて一緒に表現



平和集会

午前はまず、養父市立広谷小の平和集会を参観した。六年生が修学旅行でヒロシマに行ったことや、一学期の間に学んだことを劇にし、全校生に対し発表していた。一生懸命にとりくむ子どもたちの姿から、原爆のおそろしさや、戦争は二度と起こしてはいけないという気持ちが伝わってきた。

平和学習

続いて、四年生の平和学習の授業を参観した。ゲストティーチャーの村上伸幸さんは終戦時10歳で、今の四年生と同じ歳。当時の広谷の様子をわかりやすい食べ物のお話を中心に話された。貴重な当時の写真もあり、子どもたちもイメージがしやすかつたと思う。また、ただ伝えるだけでなく、「すべての人が平和を願はずなのに、今でも戦争は起きるのか考えてください」と未来を担う子どもたちに投げかけられ、子どもたちが学び、考え続ける意

欲づけになる言葉かけもされていた。「させる・させられる」ではなく、ともに平和をもとめ続けていこうという空気が感じられた。

大久野島

午後は、山内静代さん協力(研究所員)から大久野島について話を伺つた。詳細に調べられ、史実にもとづいた話をされた。「地図から消された島」「毒ガス島」と世間では言われ、被害的なイメージで見られている。しかし、山内さんは「戦争においては、加害被害の両面を見ていかなければならない」と本音の平和教育はできない。子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために教育にあつていかないといけない」と言われた。自己満足に陥らない平和教育について学ぶことができた。

養父中の実践

中学校分会の実践報告があつた。約20年続いている全校集会のことや、教科では社会科だけでなく、英語、美術、日本語などでの取り組みについて発表があつた。平和、人権意識を基盤にすすめられていることが伝わってきた。会場には一年生の生徒全



平和教育のとりくみ方

村上登司文さん(協力研究所員・京都教育大学)をコーディネーターとして、班ごとの各支部間交流がおこなわれた。平和教育のとりくみについて、「ヒロシマに修学旅行に行つてい学校では、教育課程に位置づけてとりくみやすい」「全校でとりくみ、続けることが大切」「今しかできないことがある。身近に残る戦



争の跡を教材化することも必要」などの意見が多く出された。若い教職員への継承や子どもにとって近い物事として捉えさせることが教員としての責務であるという意見もあり、常に心がけてとりくんでいきたい。

今回の平和教育実践交流集会を受け、養父支部としてここから平和教育をリスタートしたい。広谷小や養父中のようにすばらしい実践をしているところがあつた。貴重なとりくみを支部内で交流し、各校の実態に応じた実践を、「やってみよう」「今より一歩すすめてみよう」と教職員の仲間同士で思つてもらえるようにしたい。そして、主体的に「平和」について考えることができる子どもをはぐくんできていきたい。

語り継ぐ 集団的自衛権に思う

元兵庫教育文化研究所副所長・川西支部 忌部淑恵さん

戦時中生まれたの私としては、やはり集団的自衛権に對しては大変な危機感を覚えます。国会討論を見ていますと、自民党の論調、特に安倍首相の論理は詭弁の連続にしか聞こえませんが、安倍さんは「PKO(国連平和維持活動)が取りざたされたときには『日本が戦争に行くのか』ということ

が盛んに言われたが、そんなことはおこなつた。だから集団的自衛権も……

しかし、PKOを容認した後は簡単にPKF(国連平和維持軍)を認めることになりました。私たちが民はその流れに馴らされました。そして、集団的自衛権です。やはりPKOが戦争への道を開いたのです。今は間違いなく戦前状態への突入です。

人以上の国で、他にはないことです。世界にも日本国民にもこれ以上の安全保障はないと思ひます。兵器を持つて他国に侵攻してないからこそイスラム圏においても信用されているのです。それを捨て去ろうとしています。

いま世界に対する日本の役割は、「紛争解決の手段として永久に武力を行使しない」この憲法の精神を世界に広めることです。この半世紀以上の間、武力行使

するのには戦争に突入するより簡単ではありませんが、そろそろ人類はもつと賢くならないといけない時ではないのかと強く思ひます。もう一つの誇り。日本はアジアにあって言論が保障されているとても珍しい国のような存在は重要であるという論を読みました。このことも大切です。言論統制と戦争への道は常に二人三脚です。つい先だって特定秘密保護法が成立しました。二人三脚の紐がむすばれてしまったのでしょうか。私たち国民にそのつもりがあるとは思われませんが。



「とび箱5だん じょうずにとべたあ」南あわじ市灘小学校 二年 奥村 優吾 (こどもの詩と絵 第34集より)

教職員共済生協の 年金共済で、ゆとりあるセカンドライフをめざしませんか?

資料請求 お問い合わせ ▶ 教職員共済生活協同組合兵庫県事業所 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4F 電話(078)221-9730 FAX(078)221-1199 承09-16-03(0911)

公的年金にプラス

現職の方は無理のない金額でコツコツ。退職の方は退職金などのまとまった資金で!



教職員共済

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧いただき制度内容をご確認ください。

現職の方は▶掛金月払い

- ◆月額5,000円から積み立てられます(1,000円単位)。ご契約後に増額・減額することもできます。
- ◆まとまった資金をその都度積み立てられる任意積立やあらかじめ決めた金額を積み立てられるボーナス積立制度もあります。
- ◆解約時には解約返戻金をお支払いします。(短期間での解約は返戻金が払込掛金を下回ります)
- ◆積み立てた原資をもとに、ご退職時に年金の受取り方法、金額を選べます。

ご退職の方は▶掛金一時払い

◆ご希望の年金額(月額1万円~6万円)、受取り方法に応じた掛金を一括払い。

受取り方法

- 前厚型** 受取り当初5年間の備えを厚くしたい方に
 - 増進型** 物価上昇等に備えて年金を増やしたい方に
 - 定額型** 公的年金に一定額を上乗せしたい方に
- 受取期間はそれぞれ10年・15年・20年・終身の中から選べます。※定額型のみ5年確定年金を選ぶこともできます。